



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.16

令和6年12月11日発行

子ども救命士講習～守られる側から守る側へ～

12月4日(水)、村山市消防本部の救急救命士の方を講師にお招きし、子ども救命士講習を行いました。5年生は「応急手当と119番通報」、6年生は「心肺蘇生とAEDの使い方」を教えていただきました。5年生は、通報の演習で自分の家の住所を聞かれたとき、残念ながら一人も答えられませんでした。考えてみると、家の住所も電話番号も言えない子どもが多くなっているなあ、と10年ほど前から感じていました。今や覚えるものではなく、携帯電話に記録しておくものになったということでしょう。ただ、外で具合が悪くなった時や家に救急車などを呼ぶ時は、自宅の住所や電話番号をすぐ言えた方がいいのは明らかです。それだけ命が助かる確率が上がると、講師の方もおっしゃっていました。6年生は、心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。学校にもAEDが備え付けてありますし、公共の建物や大きな商店にも設置されています。しかし、どんな時にどんな手順で使うのかを知らなければ宝の持ち腐れです。AEDを使うのは一般市民である私たち。救急隊員の到着を待っているだけでは救えない命を、私たち一人一人が知識と勇気を持つことで救うことができるのです。子どもであっても、守られるばかりでなく、誰かの命を救うためにできることがあると教えていただきました。



食育指導 ～食は生きるための土台です～

1年生「やさいとともだちになろう」11月26日(火)

クイズや「野菜のいいところさがし」を通して、野菜に関心を持ち、野菜を食べると体にいい影響があるということを学びました。学習後、給食で苦手の野菜が食べられるようになった人がいたと聞きうれしくなりました。



2,3年生「食べ物の働きについて考えよう」11月26日(火)

赤(タンパク質)黄(炭水化物)緑(ビタミン類)の働きを知り、バランスよく食べることの大切さを学びました。また、栄養バランスを考えた朝食を自分たちで考えることができました。3年生は、国語でちょうど「すがたをかえる大豆」という説明文を読んでいたの知識がつながり、理解を深めることができました。



5,6年生「成長期に必要な栄養について考えよう」11月28日(木)

自分の体を成長させるために必要なカルシウムについて学び、骨を丈夫にするために自分の生活をどうするか考えました。自分の体を一生支える骨。でも、体は生体維持に必要なカルシウムが不足すると、カルシウムを骨から溶かしだしてしまうという衝撃の事実を知り、子どもたちは真剣に考えていました。子どもだけでなく、カルシウム不足には大人も気を付けなければ、と考えさせられました。



4年生「チョコレートのひみつ」12月9日(月)

カカオ豆からチョコレートが作られる過程を学びました。身近なお菓子であるチョコレートが、実は世界とのつながりがある初めて食べられるものだということを学ぶことができました。

